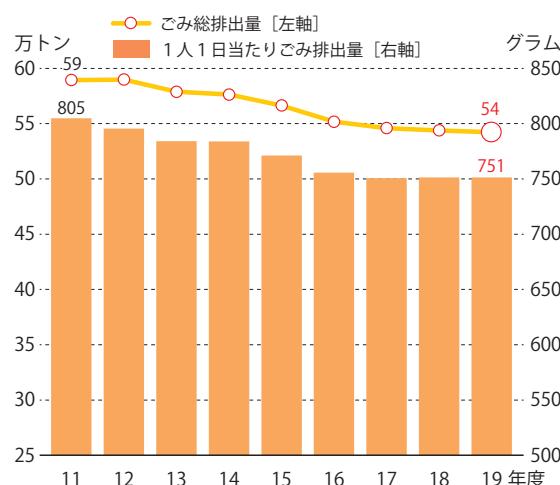


群馬の生活系ごみの排出量

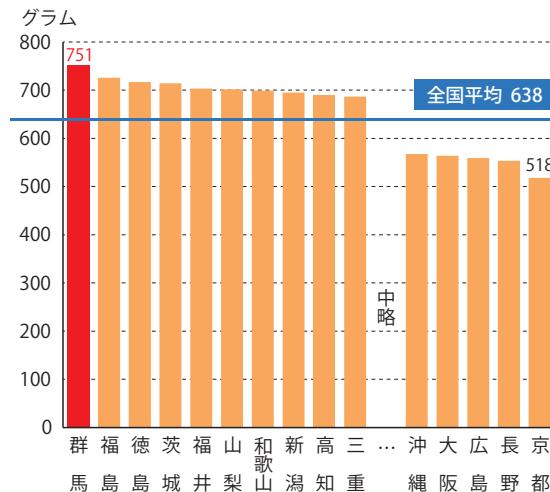
～1人1日当たりごみ排出量は全国最多～

- 環境省によると、2019年度の群馬における家庭から排出される生活系ごみの総排出量は54万トン、1人1日当たりごみ排出量は751グラム（年換算で275キログラム）であった（図表1）。12年度以降は減少傾向にあったが、17年度以降はほぼ横ばいで推移している。
- 都道府県別に1人1日当たりごみ排出量をみると、群馬は全国で最も多く、全国平均を113グラム（年換算で41キログラム）上回る（図表2）。
- 内訳をみると、群馬では、生ごみ、紙・布類などの「可燃ごみ」の排出量が全体の79.4%を占め、全国平均（66.9%）を大きく上回る（図表3）。
- 群馬のごみの排出量を減らすには「可燃ごみ」の削減が必要である。県民には、無駄なもののは買わない、ものを大切に使う、調理の無駄や食べ残しを減らす、生ごみの水きりをする、堆肥化等バイオマスを活用する、不用品をリユースに回すなどの行動が求められる。

図表1 群馬のごみ排出量



図表2 都道府県別の1人1日当たりごみ排出量（多い順、2019年度）



図表3 1人1日当たりごみ排出量の内訳（2019年度）

[単位：グラム、（ ）内は合計を100とする%]

	合計	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	その他のごみ	粗大ごみ
群馬 ①	751 (100.0)	0 (0.0)	597 (79.4)	28 (3.7)	106 (14.1)	3 (0.3)	19 (2.5)
全国平均 ②	638 (100.0)	36 (5.6)	427 (66.9)	25 (4.0)	129 (20.3)	2 (0.2)	19 (3.0)
群馬と全国平均との差(①-②)	113	▲36	170	2	▲24	1	▲0

注1. 環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」より群馬経済研究所で計算。

2. 四捨五入の関係で合計欄の値と内訳の合計、群馬と全国平均との差が表示の値と一致しない。

3. 住民団体により回収された「集団回収量」は「資源ごみ」に含めた。

4. 「混合ごみ」は可燃や不燃を問わずに収集されるもの、「その他のごみ」は有害ごみや危険ごみ等として収集されるもの。

【一口メモ】

掲載のデータは環境省が公表している「一般廃棄物処理事業実態調査」による。群馬県は、3きり運動（使いきり、食べきり、水きり）、衣料品廃棄の削減、マイバッグの活用等環境にやさしい買い物スタイルの普及促進などにより、ごみ排出量の削減を目指している。

（担当：樹下芳久）